

平成 29 年 7 月 25 日
いわくにバス株式会社

地域の皆さまとのお話し合いについて（ご報告）

1. 実施日時 7 月 25 日（火） 19:00～19:30
2. 会場 一本杉自治会館
3. 参加者 一本杉自治会役員の皆さま（役員集会にあわせて実施）
4. 議題 一本杉バス停の移設計画について

5. 議事録

（会社）

- ・一本杉バス停に至る経路は狭い箇所を走行する、または転回が必要であり、これまで複数回の接触事故が起きている。
- ・安全の確保のためにも狭い箇所の走行と転回を取り止めたいと考えており、バス停の移設を行いたいと考えている。
- ・ご利用のお客さまにはご迷惑をおかけするが、安全に運行を継続するためにもご理解いただきたい。

（参加者）

- ・事故はいわくにバスだけになってから複数回起きたとのことで、一方で旧岩国市交通局の時は起きていなかった。事故が起きるのはいわくにバスに原因があるのではないか。
- ・事業者は安全運転できるのが当たり前である。
- ・会社の努力不足ではないか。
- ・会社の自己都合であり利用者のことを考えてない。
- ・バスの車両を小型車に変えたら解決するのではないか。
- ・今の一本杉バス停ではなく、さらに一本杉の団地の上の広場で回転してはどうか。

（会社）

- ・社員の教育が不足している点は認める。ほとんどの社員が当社に入社してはじめて大型二種免許を取得したか、免許を使って仕事を始めたものばかりだ。社長もそう。
- ・しかし、旧岩国市交通局の時代と比べてマイカーの比率も高まっており該当箇所は事故が起きやすい場所となっていると考えている。

・小型車両についても検討を行ったが、途中で岩国医療センターや県営黒磯に寄ることで特に高齢のお客さまが多数乗車されることから座席数の多い車両で運行をするべきで小型車両を配置すると車内事故の危険も高まる。

・当社の社員が団地の上の広場など代替え場所の検討を行ったが、いちばん広いのは今の転回場所。

以上

※バスのことに関して、当社社員がお伺いし、地域の皆さまとのお話し合いの場を設けさせていただきます。

本件に関するお問い合わせ；

バス事業統括本部 上田 Tel:0827-22-1092